

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和5年10月6日(2023.10.6)

【国際公開番号】WO2022/239211

【出願番号】特願2023-520703(P2023-520703)

【国際特許分類】

**F 2 5 B 4 3 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )**

【 F I 】

F 2 5 B 4 3 / 0 0

B

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月14日(2023.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本開示に係る冷媒貯留容器は、気液二相冷媒をガス冷媒と液冷媒とに分離し、該液冷媒を容器内部の下部空間に貯留する冷媒貯留容器であって、外殻を形成する容器本体と、前記容器本体に接続され、前記気液二相冷媒を前記容器本体内の上部空間に流入させる流入管と、前記容器本体に接続され、前記容器本体内の前記上部空間からガス冷媒及び液冷媒を前記容器本体の外部へ流出させる流出管と、前記容器本体の内部に設けられ、前記容器本体の内部を前記上部空間と前記下部空間とに仕切る波打ち防止板と、を備え、前記波打ち防止板には、前記上部空間と前記下部空間とを連通させ、該下部空間に液冷媒を流入させる複数の貫通孔が形成されており、前記貫通孔は、前記容器本体の内壁面に沿って環状に配置されており、複数の前記貫通孔のうち、前記流入管に近い貫通孔は、前記流出管に近い貫通孔に比べて大きい孔径で形成されているものである。

20

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

気液二相冷媒をガス冷媒と液冷媒とに分離し、該液冷媒を容器内部の下部空間に貯留する冷媒貯留容器であって、  
外殻を形成する容器本体と、  
前記容器本体に接続され、前記気液二相冷媒を前記容器本体内の上部空間に流入させる流入管と、  
前記容器本体に接続され、前記容器本体内の前記上部空間からガス冷媒及び液冷媒を前記容器本体の外部へ流出させる流出管と、  
前記容器本体の内部に設けられ、前記容器本体の内部を前記上部空間と前記下部空間とに仕切る波打ち防止板と、を備え、  
前記波打ち防止板には、前記上部空間と前記下部空間とを連通させ、該下部空間に液冷媒を流入させる複数の貫通孔が形成されており、  
前記貫通孔は、前記容器本体の内壁面に沿って環状に配置されており、複数の前記貫通孔のうち、前記流入管に近い貫通孔は、前記流出管に近い貫通孔に比べて大きい孔径で形成されている、冷媒貯留容器。

30

40

50

**【請求項 2】**

前記流入管は、前記波打ち防止板の上面のうち、前記貫通孔を避けた位置に排出口を向けて、前記容器本体に接続されている、請求項 1 に記載の冷媒貯留容器。

**【請求項 3】**

前記貫通孔を避けた位置とは、前記波打ち防止板の上面の中央位置である、請求項 2 に記載の冷媒貯留容器。

**【請求項 4】**

前記流入管は、前記容器本体の内壁面の周方向に排出口を向けて、前記容器本体に接続されている、請求項 1 に記載の冷媒貯留容器。

**【請求項 5】**

前記波打ち防止板は、前記下部空間に向かって傾斜し、液冷媒を前記貫通孔に誘導する導水部を有している、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の冷媒貯留容器。

10

**【請求項 6】**

前記波打ち防止板は、前記容器本体の上面に向かって盛り上がった形状とされ、盛り上がった部分から前記容器本体の内壁面に向かって傾斜する傾斜面が前記導水部とされている、請求項 5 に記載の冷媒貯留容器。

**【請求項 7】**

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の冷媒貯留容器と、前記冷媒貯留容器に流出管を介して接続された圧縮機と、を備えた、冷凍サイクル装置

20

30

40

50